

会議名	弦巻中学校改築基本構想中間説明会		
年月日	令和4年6月29日(水) 第1回 16:00～、第2回 19:00～	場所	弦巻中学校第一会議室
□議題:	1. 改築基本構想説明 整備方針、規模、スケジュール、基本方針、配置計画 2. 質疑応答		

議題	議事内容(要旨)	
改築基本構想説明	(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の基本的な考え方、建物規模、スケジュール、基本方針(素案)について説明 I-1、I-2、II-1、II-2、IV案の配置計画の説明
第1回質疑応答	(住民) (事務局) (住民) (事務局) (住民) (事務局) (住民) (事務局) (住民) (事務局) (住民) (設計) (住民) (事務局) (住民) (住民) (事務局) (住民) (住民) (設計)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年からの仮設校舎整備等とはどのような工事か。 →仮設校舎の建設や、残る棟の特別教室への改修工事などである。 現在の1年生が3年生になった時に仮設工事が始まる。受験期への騒音の影響が心配だが、配慮はあるか。コロナの感染対策で窓を開けていると、よりうるさいのではないか。 →試験などの行事日には工事内容に配慮することや、夏休みを中心に工事を進める等、できるかぎり調整する。コロナについては2年後の感染状況がどうなっているかは予想できない。 基本方針に「災害時の避難所の機能を果たす」とあるが、工事中も避難所としての機能は担保できるか。寝泊りするだけでなく、避難所としての幅広い機能を考慮してほしい。 →体育館は改築工事中も引き続き使えるよう考えている。 子どもがスポーツをしているが、グラウンドの大きさは変わるのか。 →校庭面積は現況と比べて多少小さくなるが、野球の試合ができる大きさは確保しており、サッカーコートの大きさもほとんど変化しない。但し工事中は校庭のすべてを使うことはできない。 プールの改修はするか。 →改修する。 現行校舎との離隔距離の差はどのくらいか。 →現行校舎の壁面位置と、I-1案の給食室の壁面位置(敷地境界からの最短距離)が同じくらいとなる。 体育館を1階にすることは可能か。災害時の避難経路はどうするのか。 →体育館の移動はできない。現時点ではエレベーターを設置する新校舎棟と体育館棟を2階のデッキでつなぎ、バリアフリー化する計画である。 災害時にエレベーターは(停電で)使えないかもしれないので検討を。 工事の時期はどうか。 →より詳しい時期は次回の冬の説明会にて説明予定。既存棟の改修は2回に分け、可能な限り生徒のいない夏休みを中心に行う予定。現状の大まかな見込みとして、仮設校舎建設は令和6年度途中から始まり、令和7年度途中に引越し、その後、解体が半年から1年間、新校舎建設は令和9年度中には終わる予定である。 校庭の水はけをよくしてほしい。 どの案も、なぜ昇降口が2階にあるのか。 →1階に設けることも可能だが、職員室(校庭への視認性確保)及び特別支援教室の南側配置を優先したことから2階配置となった。普通教室が2・3階のため昇降口も2階にある方が、動線がスムーズになることと、ゆとりある昇降口を確保できると考えた。部屋の配置は未定のため、優先順位を踏まえて今後検討していく予定である。

議題	議事内容（要旨）
第2回質疑応答	<p>(住民) ・ 全体事業費はいくらか。</p> <p>(設計) → 前回までの試算では校舎棟改築工事費で 40 万円/㎡以下で見込んでいたが、コロナ禍やウクライナ情勢等による資材費の大幅な高騰、工事会社の働き方改革等により増額となるものと考えている。</p> <p>(住民) ・ 幼稚園との統合がなくなったが、民間事業者は山下設計のままか。</p> <p>(事務局) → 変更は考えていない。</p> <p>(住民) ・ 前回構想では3階建て以上だったが、何故2階建てにすることが可能なのか。</p> <p>(設計) → 幼稚園との統合（園舎及び園庭）がなくなったことで、可能となる。</p> <p>(住民) ・ 基本構想委員の近隣住民の方で、中学校近隣（日影に困っている）住民が入っていない中で、近隣住民への配慮をしていると言えるのか。</p> <p>(事務局) → 既存の4階建て校舎から、3階もしくは2階建てと高さを減らすことで、日影に対する配慮はしている。引き続き住民の意見を聞いていく。</p> <p>(住民) ・ 委員会の議論概要の開示をしてほしい。</p> <p>(事務局) → すでにホームページ上で公開している。</p> <p>(住民) ・ 仮設校舎の場所はどこか。</p> <p>(事務局) → 南側に2階建て、2000㎡後半になるものと想定している。</p> <p>(住民) ・ 工事中の校庭の圧迫、部活動の制限、体育の授業などへの影響はあるのか。</p> <p>(事務局) → 新校舎建設中は校庭面積が半分程度となるので、部活動の制限などは学校側と調整する。既存棟の改修などは夏休みを中心に予定しており、できる限り授業に支障が生じないように工事を進める。</p> <p>(住民) ・ 少子高齢化が進む中で、今と同規模の建物が必要なのか。</p> <p>(事務局) → 世田谷区での中学生生徒数は今後数年増加が見込まれており、加えて中学校の35人学級化が進んだ際にも運用できることを大前提に計画している。その後は状況による。</p> <p>(住民) ・ 日当たりが悪い北側道路の凍結をどうにかしてほしい。</p> <p>(住民) ・ 日影は各案どう違うのか。</p> <p>(設計) → 各案仮の日影図を用いて説明。各案既存校舎と比較して全体的な影の影響範囲は小さくなるが、校舎付近での日影に限って言えば、現況との大きな差はない。しかし、2時間日影3時間日影ともに北側住居への影響は改善される。</p> <p>(住民) ・ 校舎をもっと南側にずらせば北側住居の日影は改善されるのではないのか。</p> <p>(事務局) → 校庭が狭くなり、生徒の活動を圧迫する代わりに、日影改善の余地はある。</p> <p>(住民) ・ 建物に切れ込みを入れるなどして、日照の確保を検討してほしい。</p> <p>(住民) ・ 学校敷地内に傾斜があることで、北側道路側溝から水があふれて、落ち葉が溜まることもどうにかしてほしい。</p> <p>(設計) → 新校舎建設の際は雨水流出抑制の規定もあるため、敷地内の水が直接外に流れ出るとはならないように計画する。</p> <p>(委員) → 側溝への対策は委員会でも発言している。行政とも連携して考えていく。</p> <p>(住民) ・ 図面だけ見せられてもわからない。住民にも細かい情報を提示してほしい。</p> <p>(住民) ・ かつて65年前は2階建ての木造校舎が建っていた。もし広い校庭が確保できるのであれば、北側の環境が改善される2階建て校舎（IV案）が良い。</p>

以上